



浜之郷小学校

12月号④

2021. 12. 24



郷小だより

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

『よいお年をお迎えください』

校長 高橋 励

～ 茅ヶ崎養護学校との作品交流 ～

今週月曜日の朝、見守りの方の代わりにバイパス下信号に立ち、登校途中にみつけた氷のかけらを手に歩いてくる子どもからお宝発見の報告を聞いていました。そこは、朝陽も当たらずとても寒く、でも、そんな場所で毎日子どもの安全を見守ってくださっているんだなあとおもいました。同じように、学区のさまざまな場所でお力添えをいただいている地域の皆さま、おかげさまで無事に冬休みを迎えられます。感謝申し上げます。

3階に、県立茅ヶ崎養護学校のみなさんが作ったみんなのお面が展示されています。新型コロナへの配慮で、いまだ直接の交流が持てませんが、せめてお互いの作品で気持ちを通わせたい、ということで、ふれあいホール上のスペースに展示されています。表情豊かでとても愛らしいですね。



～ 生きた「経験」のチャンス! ～

ところで、各ご家庭での大掃除はこれからでしょうか。昔、小学生のころのわたしの掃除の役割は、風呂場と玄関・外回り、そして洗濯でした。新年を迎えるための節目の催しです。ぜひ家族の一員としてお子さんにも役割を持たせてあげてください。

～ 年末・年始も感染予防の行動を! ～

日別陽性者150人だった8月23日を頂点に、夏休み明けは茅ヶ崎市も厳しい新型コロナ感染状況でした。今日から2週間、「丑」から「寅」へと穏やかに年の引継ぎを経て、冬休み明けの1月7日に子どもたちがみんな安心して新年のあいさつが交わされるように、まずはオトナとして私たちが（ワクチン接種の有無にかかわらず）感染予防のための基本的で常識的な行動を改めて心がけたいものです。帰省や家族旅行、新春のあいさつ巡り、初詣や初売り、イベント参加など、主催者は十分対策をとっているはずですが、ウイルスはヒトの都合に合わせてはくれません。たくさんの方がいろいろなところから集まる場では、密の回避、マスク着用、手洗いの励行をお願いします。



ちなみに、この季節に合わせて5年生では家庭科の学習として校内「大掃除」のプロジェクトに取り組みました。



ふだん手つかずの場所を班で話し合い、気持ちの良い環境にしていくためにどのような道具を用意してどう作業するかを考え工夫をしながら取り組んでいました。経験のひとつが「生きる力」になっていきます。よい経験に出会える年末・年始になるといいですね。

では、皆さま、よいお年をお迎えください。